

**1 主題名** 自分の心に誠実に A(2) 正直・誠実 1時間完了

教材名「手品師」 出典「きみが いちばん ひかるとき」 光村図書

**2 主題設定の理由**

本学級の児童は、男子11名、女子15名の計26名である。算数や理科などの答えがきちんとある授業では挙手発言することが出来る子が比較的多い。また、自分と同じ意見の子と一緒に討論をする活動になると、活発に意見を言える子が多くなる。しかし、国語や道徳の登場人物の気持ちを考える場面や、「自分だったら」と考える場面になると急に元気がなくなり、挙手ができなくなる子が多い。

4月に行った「道徳は好きですか」というアンケートでは、20人が「はい」と答え、5人は「いいえ」と答えた。「はい」と答えた理由は、登場人物の気持ちを考えることが好きだから、普段の生活に生かせるから、正解がなくて自分の考えをいいやすいからという意見が多かった。一方で「いいえ」と答えた子は、正解がわからないから、合っている不安だから、という意見が多く、他の教科で積極的に挙手発言をし、テストでも高得点をとっている子が多い傾向にあった。また、5月下旬に行ったWEBQUでは、2名の児童が要支援群に入っており、自己肯定感がとても低かったり、他者との関わりに不安に思ったりしていることが分かった。

「手品師」という教材は、手品師がこれまでずっと努力をしてきた夢の実現と、今日会ったばかりの男の子との約束のどちらかをとるべきか葛藤し、男の子との約束を選ぶという話である。手品師が自分の夢である大舞台で活躍できるチャンスをつかむために行動するのか、町で今日会ったばかりの男の子との約束のために行動するのか、という選択の中で、自分の夢に向かうよりも男の子との約束を優先した手品師の心情について考えていく。手品師の行動について考えながら、そこに込められた気持ちや思いについて深く考えやすい。また、相手である男の子の気持ちや思いも一緒に考えていくことができ、手品師の相手へ思う気持ちや約束について誠実に生きるのか、自分の夢に対して誠実に生きるのかの二つの立場について考えることが出来る教材である。

今回は「自分だったらどうする」と問いかけ、「自分の気持ちに誠実に生きる」とはどういうことを追求していく。子供たちが好きな討論形式の授業の形式を取り入れることで、正解がない答えを言うことが苦手な子も道徳に参加し、自分の心と向き合い、自分にとって誠実とはどういうことを考える場にしたい。また、要支援群の2人にも、この活動を通して他者と関わったり、自分の心と向き合ったりする場にしていきたい。

**3 本時の学習指導****(1) ねらい**

①登場人物の行動や心情を考えることで「誠実」とはどういうことなのか、自分の心と向き合い、考えを深めることができる。

②自分の気持ちと相手を考える気持ちとの間で揺れる手品師の姿から、どう考えて行動することが「自分の心に誠実に生きる」ことになるのか、自分の考えを話し合う活動を通して、誠実に生活しようとする心情を高める。

**(2) 準備**

教師：教科書、ワークシート、挿絵

児童：教科書、ネームカード、筆記用具

(3) 展開

段階 時間	児 童 の 活 動	教 師 の 活 動
見通す (5)	<p>1 「誠実」について想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まじめ</li> <li>・しっかりした人</li> <li>・意思がぶれない人</li> </ul> <p>2 資料の範読聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中まで聞き、手品師が迷った末どんな選択をしたのか予想し、ワークシートに記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手品師はどんな選択をしたのかな。</li> <li>・どうしてそう思うのかな。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大舞台を選んだ。</li> <li>・男の子を選んだ。</li> </ul> <p>3 本時の課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実という言葉のイメージが出てこない場合は、いいイメージか悪いイメージかなのかを問う。</li> <li>・本時のキーワードは「誠実」であることを伝え範読に入る。</li> <li>・読後、あらすじが確認できるようにキーワードを黒板に貼付しながら範読する。</li> <li>・P102まで読んで教科書を閉じさせ、手品師がどんな選択をしたのか、その理由を問う。</li> <li>・意見が出た後、黒板のセンチメートルに自分のネームカードを貼らせ、子供の考えを把握する。</li> </ul>
かかわる (35)	<div style="border: 2px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「誠実に生きる」とはどういうことだろう。</p> </div> <p>4 範読の続きを聞く。</p> <p>5 自分が手品師ならどうするか考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が手品師ならどうするかな。</li> <li>・どうしてそう思うのかな。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自分の考えを記入する。</li> <li>・自分の考えをセンチメートルに表す。</li> <li>・うそをつくと後悔しながら生きていくことになると思うから、男の子との約束を守る。</li> <li>・ずっと追いかけてきた夢だから、自分の夢や気持ちに正直になって舞台をとる。</li> <li>・男の子にきちんと事情を説明してから行く。</li> <li>・約束と夢どちらも選べない。</li> </ul> <p>6 「誠実」というキーワードをもう一度考え、再考し、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誠実」ってどういうことなんだろう。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を破ったら誠実ではない。</li> <li>・自分の気持ちに嘘をついていることは誠実ではない。</li> <li>・そちらも誠実だと思うから、自分の気持ちに素直なこと、後悔しないことが自分の気持ちに誠実だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のキーワードを提示し、意識しながら聞くように指示する。</li> <li>・自分事として考えること出来るように問う。</li> <li>・机間巡視し、子供の意見を把握する。</li> <li>・意見が書けない子には、センチメートルで問いかけ、友達の意見に近いものを自分の意見として持つよう助言する。</li> <li>・黒板のセンチメートルに自分のネームカードを貼らせ、子供の考えを把握する。</li> <li>・多様な意見や考えを引き出すために、自由な意見を認める。</li> <li>・男の子を選ぶことだけが正しいと考えてしまわないように、大舞台を選ぶ理由についても取り上げる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見の押し付け合いにならないように、「誠実」というキーワードを確認し、再び問う。</li> <li>・自分の思いを大切にする誠実さと、男の子との約束を守る誠実さの両方に気付いている児童を指名する。</li> </ul>

見直す (5)	<p>7 本時を振り返る。</p> <p>・「誠実に生きる」とはどんな生き方だと思いますか。</p> <p>・自分が選んだ選択肢に後悔しない生き方。</p> <p>・自分の気持ちに素直な生き方。</p> <p>・自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも考えることができる生き方。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活につなげて記述している子を称賛し、意図的に指名して発表させる。</li> <li>・自分の考えを整理しやすいように板書を振り返るように助言する。</li> <li>・みんなの意見を認め、称賛する。</li> </ul>
------------	--	--

#### (4) 評価

登場人物の気持ちや友達の見解を聞いたりすることを通して、自分の気持ちに誠実に生きていこうとする気持ちを高めることができたか。(活動5・6・7の発表、ワークシートの記述より)

#### 板書計画

<p>◎ 誠実に生きるとは？</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大舞台の 挿絵</div>  <hr style="width: 100%;"/>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">思い・意見</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">男の子の 挿絵</div>  <p>「誠実に生きる」とはどのようなことか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まじめ</li> <li>・しっかりとした人</li> <li>・意思がある人</li> </ul> <p>手品師</p>
--------------------	--	---